

千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	山形	秋田	宮城	岩手	青森	北海道	學科	
												地方	本科
一〇	六	三	一	三	四	六	三	五	三	七	五	農學科	本
五	四	三	二	二	七	四	一三	一〇	六	五	四	木學科	農學科 木學科
三	四	四	一	一	八	二	一一	五	七	九	四〇	四〇	林學科
一													選科
	一	一				一	一				一		業實科 農村工
一九	一五	一一	四	六	一九	一三	二八	二〇	一六	二一	五〇		計
三重	愛知	静岡	岐阜	長野	山梨	福井	石川	富山	新潟	神奈川	東京	學科	
地方												本科	
四八	二六	一〇	七	八	四		一一	二	七	一一	六八	農學科	本
三五	一七	六	五	七		八	八	四	二	七	三九	木學科	農學科 木學科
三一	一〇	一三	一三	一五	六	六	三	九	一〇	六	四三	四三	林學科
八			一	一		一							選科
四	五	一		三	一	一		二		三	一〇		業實科 農村工
一二六	五八	三〇	二六	三四	一一	一六	二二	一七	一九	二七	一六〇		計

四、卒業生地方分布ノ狀況

合計	死	其他
六二四	二七	六
六一五	四四	三
五七二	三一	二
二八	三	
八八		
一九二七	一〇五	一一

高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	岡山	鳥根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	
四		四	六	五	七	四	三	五	二	一	一	三	二	七	
五	三	六	二	七	七	八	六	三	七	四	一	二	二	六	
一	六	三	五	九	八	四	九	三	六	五	一	二	一	三	
					一	一			二	一	二	三			
一	一	二		一	一				二		二	六	五		
二	一	一	一	二	二	一	一	一	二	二	四	八	六	一	
二五	一〇	一五	一三	二二	二四	一七	一八	一一	二九	二三	四八	八六	六三	一六	
總計	諸外國	其ノ他	中華民國	滿洲國	臺灣	樺太	朝鮮	沖繩	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡
五九七	六	二七	六二	二一			四四	三		四	六	四	二	三	一七
七五七	三	二〇	一〇五	二三		一	五〇	二	五	二	二	六	四	三	一九
一五四	一	六	四五	三		一	五〇			三	六	一〇	二	五	一二
二五			二												
八八一		四	六	一二			四								
八二三	一〇	五七	二二〇	五九	一四	一四八	五	五	九	一五	二二	九	一二	四九	

第九 敷地、建物

(昭和十六年九月一日現在)

敷地

所	要	別	面積	積	所在地
校舍敷地	敷	地	一五、七四二坪	三	三重縣河藝郡栗真村
實驗農場	農	場	四七、八二九坪	三	三重縣津市上濱町
計			七、六〇一坪	三	三重縣河藝郡栗真村
演習林	林		四五七、八六〇八坪	三	三重縣一志郡八幡村

建物

種	別	構造	棟	坪數 (延坪)
本館	館	木造二階建	一	七七八・〇〇〇
講堂	堂	木造平家建	一	一二九・〇〇〇
御眞影奉安殿	殿	鐵筋コンクリート平家建	一	一・七八〇

敷地、建物

實 驗 室	木造平家建	四	六三五・〇〇〇
農業工學實驗室	同	一	八五・〇〇〇
昆蟲飼育室	同	一	八・二五〇
特別研究室	木造二階建	一	九〇・〇〇〇
藥品庫	煉瓦造平家建	一	一〇・五八六
有毒瓦斯處理室	鐵筋コンクリート平家建	一	五・〇〇〇
瓦斯發生室	木造平家建	一	四・〇〇〇
電池室	同	一	三・〇〇〇
養 蠶 室	木造二階建	三	一八九・五〇〇
乾 菌 室	木造平家建	一	八・〇〇〇
蠶種貯藏庫	鐵筋コンクリート平家建	一	九・〇〇〇
溫室及同機關室	鐵骨及鐵筋コンクリート硝子張平家建	二	四四・〇〇〇
熱帶植物溫室及同機關室	同	二	四七・二五〇
硝子室	煉瓦造硝子張平家建	一	八・〇〇〇
固定溫床	同	一	一四・〇〇〇

土壤作業室	木造平家建	一	三〇・〇〇〇
圖書館	木造二階建(一部平家建)	一	九七・五〇〇
書 庫	鐵筋コンクリート二階建	一	四八・〇〇〇
農林博物館	木造二階建	一	一五五・〇〇〇
生徒集會所	木造二階建(一部平家建)	一	一六一・〇〇〇
倉 庫	煉瓦造二階建	一	五六・〇〇〇
武 道 場	木造平家建	一	一〇八・〇〇〇
弓 道 場	同	二	二一・〇〇〇
學 生 控 所	同	一	一〇五・〇〇〇
更 衣 室	同	一	三二・〇〇〇
銃 器 室	同	一	三二・〇〇〇
寄宿舎及附屬建物	木造二階建(一部平家建)	一二	四六五・三七三
小使室、物置及便所、渡廊下等	木造平家建	二五	二七五・二二七
農場管理室及實驗室	同	一	九五・〇〇〇
作業室及收納室	同	一	九五・〇〇〇

穀物庫	木造平家建	一	三五・〇〇〇
農業機械室	同	二	一八〇・〇〇〇
農産製造室	同	一	五〇・〇〇〇
農産加工室	木造、煉瓦、鐵筋コンクリート混合二階建(一部平家建)	一	四七・五〇〇
林産製造室	木造平家建	一	三五・〇〇〇
酪農室	同	一	二〇・〇〇〇
飼料室	同	一	三六・〇〇〇
牛舎	同	一	四一・二五〇
馬舎	同	一	三五・七五〇
堆肥及水肥舎	同	二	七五・〇〇〇
羊舎	同	一	一〇・〇〇〇
鶏舎	同	一	二七・〇〇〇
孵卵器室	同	一	一〇・〇〇〇
豚舎	同	一	一八・七五〇
煙室	鐵筋コンクリート平家建	一	二〇・〇〇〇

蔬菜室	木造硝子張平家	一	七〇・〇〇〇
樹苗消毒室	鐵筋コンクリート平家建	一	二・〇〇〇
作物栽培實驗室	木造硝子張平家	一	二一・〇〇〇
農場員詰所及便所	木造平家建	三	二四・〇〇〇
モーター室	鐵筋コンクリート及木造平家建	二	三・五〇〇
演習林寄宿舍、同附屬建物	木造二階建及平家建	六	二一〇・三七五
官舎	同	四	一〇七・〇〇〇
官舎物置	木造平家建及二階建	五	三四・五〇〇
計		一一六	四、九四一・〇九一
拓殖訓練所寄宿舍及同附屬建物	木造平家建	四	一六九・〇〇〇
拓殖訓練所農具室	同	一	四〇・〇〇〇
拓殖訓練所收納室	同 (一部地下室)	一	三四・〇〇〇
計		六	二四三・〇〇〇
合計		一二二	五、一八四・〇九一

附錄

三重高等農林學校報國團規則

第一章 名稱及目的

第一條 本團ハ三重高等農林學校報國團ト稱ス

第二條 本團ハ報國ノ精神ニ基キ全校一致心身ノ修練ヲ行ヒ校風ノ發揚ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二章 組織

第三條 本團ハ本校職員及生徒ヲ以テ組織ス

第四條 本團ニ左ノ五部ヲ置ク

- 一、總務部
- 二、鍛鍊部
- 三、國防部
- 四、文化部
- 五、生活部

第五條 總務部ハ企画、指導、經理ニ當リ且他ノ部ニ屬セザル事務ヲ掌ル

鍛鍊部ニ作業、劍道、柔道、弓道、野球、庭球、水泳、競技、蹴球、山岳、籠球ノ十一班ヲ置ク

國防部ニ航空、馬術、射擊、自動車ノ四班ヲ置ク
 文化部ニ科學研究、拓殖研究、講演、文藝、音樂、修道、編纂ノ七班ヲ置ク
 生活部ニ興風、衛生、友誼、公德販賣ノ四班ヲ置ク

第三章 役員

第六條 本團ニ左ノ役員ヲ置ク

- 團長 一名
- 副團長 若干名
- 部長 若干名
- 理事 若干名
- 班長 若干名
- 幹事 若干名

第七條 團長ハ學校長之ニ當ル

副團長以下ノ役員ハ團長之ヲ任免ス

副團長、部長、理事、班長ハ職員ヲ以テ之ニ充テ幹事ハ生徒ヲ以テ之ニ充ツ

副團長ハ總務部長ヲ兼ヌルコトヲ得

第八條 役員ノ任務左ノ如シ

團長ハ本團ヲ總理ス

附錄

副團長ハ團長ヲ輔佐シ團長事故アルトキハ事務ヲ代理ス
 部長ハ團長ノ指揮ヲ受ケ其ノ部ヲ統轄シ部務ヲ掌理ス
 班長ハ部長ヲ輔佐シ班務ヲ掌ル
 理事ハ部ニ所屬シ部長ヲ輔佐シ部務ニ參畫ス
 幹事ハ總務部又ハ班ニ屬シ部長又ハ班長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

第四章 會 議

第九條 職員タル役員ヲ以テ役員會ヲ組織ス

役員會ハ團長之ヲ招集シ其ノ諮問ニ應ジ規則ノ改廢豫算決算其ノ他團長ニ於テ重要ト認ムル事項ヲ審議ス

第五章 會 計

第十條 本團ノ經費ハ團費、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第十一條 團員ノ團費左ノ如シ

- 一、生徒ハ入團ノ際入團金トシテ金五圓ヲ納入スルモノトス
但シ農村工業實科生ノ入團金ハ金壹圓トス
- 二、生徒ハ團費トシテ每學期始金四圓ヲ納入スルモノトス
- 三、職員ハ團費トシテ毎月月俸ノ千分ノ五ヲ負擔スルモノトス

第十二條 本團ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第十三條 本團ニ基本金ヲ置ク基本金ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

第十四條 本則施行ニ關スル細則ハ團長之ヲ定ム

三重高等農林學校報國團基本金規則

第一條 基本金ハ左記各號ノ一ニ當ルモノヲ以テ之ニ充ツ

一、毎年度歳入歳出決算剩餘金

一、基本金ヨリ生ズル利子

一、寄附金但シ費途ヲ指定シタルモノハ此限ニアラズ

第二條 基本金ハ左ノ場合ノ外之ヲ支出スルコトヲ得ズ

一、通常會計ニ著シク不足ヲ生ジタル場合

二、本團ノ重大緊要ナル臨時ノ事業ニシテ其ノ年度經常費ヲ以テ施行シ得ザル場合

前項第一號ノ場合ニ於テハ團長ハ役員會ニ諮問シ其ノ年度ノ利子ノ一部又ハ全部ヲ支出スルコトヲ得

但シ基本金額壹萬圓ニ達シタル後ニ限ル前項第二號ノ場合ニ於テハ團長ハ役員會ニ諮問シ元金ノ一部ヲ支出スルコトヲ得

第三條 基本金ハ之ヲ郵便貯金又ハ確實ナル銀行預金若ハ有價證券トシテ團長之ヲ保管スルモノトス

附 則

第四條 本規則ハ昭和十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

三重高等農林學校報國隊規則

- 第一條 本隊ハ三重高等農林學校報國隊ト稱ス
- 第二條 本隊ハ盡忠報國ノ赤誠ヲ發揚シ臨戰體制ニ即應スル團體訓練ヲ強化徹底シ挺身戮力奉公ノ實ヲ舉グルヲ以テ目的トス
- 第三條 本隊ハ本校職員、生徒及傭人ヲ以テ組織ス
- 第四條 本隊ニ左ノ部並ニ隊ヲ置ク
 - 一、本部
 - 二、本隊
 - 三、特技隊
 - 四、特別警備隊
- 第五條 本部ニ企画部、内務部ノ二部ヲ置キ内務部ハ連絡、事務、配給給養ノ三班ニ分ツ
本隊ハ大隊組織ト爲シ四個中隊ヲ以テ編成ス
特技隊ニ乗馬、自動車トラクター、飛行、救護、防毒、消防ノ六隊ヲ置ク
特別警備隊ニ三翠、校外ノ二中隊ヲ置ク
- 第六條 各部、各隊ニ長ヲ置ク
- 第七條 隊長ハ學校長之ニ當ル

- 各部各隊ノ長ハ隊長之ヲ任免シ職員及生徒ヲ以テ之ニ充ツ
- 第八條 隊長ハ全隊ヲ統率ス
各部各隊ノ長ハ隊長ノ指揮ヲ承ケ其ノ部、隊ヲ統率ス
- 第九條 職員、生徒及傭人ノ所屬ハ每學年ノ始ニ於テ隊長之ヲ令達ス
- 第十條 本則施行ニ關スル細則ハ隊長之ヲ定ム

附 則

三重高農同窓會會則

- 第一條 本會ハ三重高農同窓會ト稱ス
- 第二條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ圖リ母校トノ關係ヲ緊密ナラシメ併セテ産業ノ發達ニ貢獻スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達セムカ爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一、同窓名簿及會報ノ發行
 - 二、其ノ他必要ト認ムル事業
- 第四條 本會ノ事務所ハ之ヲ三重高等農林學校内ニ置ク
- 第五條 本會會員多數在住スル地方ニハ支部ヲ設クルコトヲ得
支部ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 本會ノ會員ヲ左ノ二種トス

一、普通會員 三重高等農林學校卒業生並ニ修業生

一、特別會員 三重高等農林學校現職員及同校縁故者ニシテ本會ノ趣旨ニ賛成セル者

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會 長 一 名

一、理 事 若 干 名

一、幹 事 五 名

一、監 査 員 四 名

一、協 議 員 若 干 名

會長ハ三重高等農林學校長ヲ推戴シ理事、幹事及監査員ハ全會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

監査員ト他ノ役員トハ相兼ヌルコトヲ得ス

協議員ハ各支部ニ於テ其ノ會員中ヨリ選出スルモノトス

第八條 會長ハ會務ヲ統理シ本會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ審議掌理ス

理事中ヨリ會長ノ指名ニ依リ主任理事一名ヲ定ム、主任理事ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

幹事ハ會務ヲ處理ス

監査員ハ會計事務ヲ監査ス

協議員ハ本會トノ連絡ノ衝ニ當リ且本會ノ重要ナル事項ニ關シ其ノ協議ニ參與ス

第九條 理事、幹事及監査員ノ任期ハ二箇年トス但シ重任ヲ妨ケス

協議員ノ任期ハ支部ノ定ムル所ニ依ル

第十條 理事會ハ會長之ヲ招集シ本會ノ豫算、決算其ノ他重要ナル會務ヲ審議ス

第十一條 協議員會ハ協議員及理事ヲ以テ之ヲ組織ス但シ協議員事故アル場合ハ當該支部内會員ヲ代理トシテ出席セシムルコトヲ得

協議員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ招集ス

協議員會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ會長必要ト認ムル場合ハ協議員ノ書面表決ヲ以テ協議員會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第十二條 本會ハ左ニ掲クル場合總會ヲ開クコトヲ得

一、會長必要ト認メタルトキ

二、總會員十分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及招集ノ事由ヲ具シ請求アリタルトキ

第十三條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十四條 本會全會員ハ毎年會計年度ノ始ヨリ三箇月以内ニ會費金貳圓ヲ納入スルモノトス但シ一時ニ終身會費金貳拾圓ヲ納入スル者及既納ノ年額會費金四拾圓ニ達セル者ハ以後年額會費ノ納入ヲ要セス
普通會員ハ卒業又ハ修業ノ際基本金トシテ金拾圓ヲ納入スルモノトス

第十五條 本會ハ其ノ目的ノ遂行上必要アリト認メタルトキハ協議員會ノ決議ヲ經テ臨時會費ヲ徵收スルコトヲ得

第十六條 本會ノ會計其ノ他會務ノ報告ハ會報ヲ以テ之ヲ爲ス

第十七條 本會ニ基本金ヲ設ク

第十八條 基本金ノ利子及各年度ノ剩餘金ハ必要ニ應ジ之ヲ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

第十九條 會員其ノ住所、氏名又ハ業務ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨本會ニ報告スヘシ

第二十條 本會則ハ協議員又ハ總會ニ於テ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

附 則

第廿一條 三重高等農林學校校友會特別會員トシテ既納ノ終身會費又ハ年額會費ハ之ヲ本會普通會員ノ終身會費又ハ年額會費ト看做ス

本則施行ノ際現ニ三重高等農林學校校友會特別會員タル者モ第十四條第二項ノ規定ニ依リ基本金トシテ金拾圓ヲ納入スルモノトス

昭和十六年十一月五日印刷
昭和十六年十一月十日發行

三重高等農林學校

三重縣津市丸之内本町二一〇六ノ六

弘陽印刷株式會社取締役

印刷者 駒田長之助

三重縣津市丸之内本町二一〇六ノ六

印刷所 弘陽印刷株式會社

291

民國七年五月廿八日

製本控

291	冊	72	號	年	月	日
三重高等農林學校一覽						
b3 和16年						
備考						冊

62
29



100